

ヨーヨー・マ Cello キャサリン・ストット Piano



ヨーヨー・マ、待ちに待った正統派リサイタル!

ショスタコーヴィチ:チェロ・ソナタ ニ短調 op.40

Shostakovich : Sonata for Cello and Piano in D minor op.40

ソッリマ:イル・ベッラントニオ

Sollima : Il Bell' Antonio

フランク:チェロ・ソナタ イ長調 他

Franck : Cello Sonata in A Major

2015 **10/27** (火) PM6:45

愛知県芸術劇場コンサートホール

S ¥20,000 A ¥18,000 B ¥14,000
C ¥12,000 D ¥ 9,000 学生 ¥3,000 (税込)

ご希望の方は中京テレビ事業ホームページよりエントリーしてください。
公演1か月前に抽選の上、お席をお取りできるか否か登録メールアドレスへご連絡いたします。エントリー開始は一般発売日以降となります。

webからお申し込み
できるようになりました!

■プログラム、出演者等変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
■未就学児のご入場はご同伴の場合でもお断り致します。

主催: 中京テレビ放送 企画・運営: 中京テレビ事業
後援: 愛知県・名古屋市・愛知県教育委員会・名古屋市教育委員会

お問い合わせ 中京テレビ事業 ☎052-957-3333

〒460-8613 名古屋市中区錦3-15-15 CTV錦ビル6F (月~金 AM10:00~PM5:00 / 土日・祝日休業)

<http://cte.jp> 中京テレビ事業 検索

座席表からお席をお選びいただけます!

5/30(土) 一般発売
AM10:00~

中京テレビ事業チケットセンター	052-320-9933
チケットびあ(Pコード 259-241)	0570-02-9999
ローソンチケット(Lコード 46993)	0570-084-004
愛知芸術文化センターPG	052-972-0430
栄プレチケ92	052-953-0777
e+(イープラス)	eplus.jp
名鉄ホールチケットセンター	052-561-7755
中日サービスセンター	052-263-7282

チケット販売所

ヨーヨー・マ ~チェロ・リサイタル~

ヨーヨー・マ、待望のリサイタル。

クラシック界のスーパースター、ヨーヨー・マ。グラミー賞16回受賞、巨匠指揮者や超一流オーケストラ、名アーティストとの共演など、数々の輝かしいキャリアに彩られた、名実ともに世界最高峰のチェリストの名古屋では5年ぶりとなる正統的なリサイタル・プログラム。シルクロード・アンサンブルやブラジル音楽、ピアソラの音楽など、多岐にわたる活動が目立った近年、ヨーヨー・マ“本来の”チェロを存分に堪能できる公演です!



ヨーヨー・マ(チェロ)

Yo-Yo Ma, Cello

パリ生まれ。4歳で父親にチェロを学ぶ。その後ニューヨークに移り、ジュリアード音楽院でレナード・ローズなどに師事。一般的な教育を受けることも望んだ彼はハーバード大でも学ぶ。クラシカルな演奏以外にも、振付師のマーク・モリスや歌舞伎俳優の坂東玉三郎などと共演、バッハの無伴奏チェロ組曲の映像化に挑戦するなど、新たな分野にも挑戦してきた。また世界中の文化の垣根を越える音楽の追求の中で、彼が創設したのが「シルクロード・プロジェクト」であり、シルクロードを代表する音楽家により結成された「シルクロード・アンサンブル」は、世界中で数多くのフェスティバル、コンサートに出演している。NHK「新シルクロード」では音楽監督を務め、愛知万博「愛・地球博」ではアンサンブルと共に9回の公演を行い、2006年7月からは1年間を通して、シカゴで集中的に演奏会、ワークショップ等を繰り広げた「シルクロード・シカゴ」を行った。彼の80枚を超えるアルバム(うちグラミー賞10数枚獲得)は彼の幅広い興味、関心を反映している。ボビー・マクファーリンとの「ハッシュ」、新たなアメリカ伝統音楽に取り組んだ「アパラチア・ワルツ」、他に「プレイズ・ピアソラ」「オブリガード・ブラジル」「プレイズ・モリコーネ」「ヨーヨー・マ&フレンズ ソング・オブ・ジョイ&ピース〜喜びの歌」「ゴート・ロデオ・セッションズ」などジャンルを超越した録音でも成功を収めている。

楽器はヴェネツィアのモンタニャーナ(1733年)と、ダヴィッド・フストラディヴァリアウス(1712年)の2台のチェロを愛用している。

キャサリン・ストット(ピアノ) *Kathryn Stott, Piano*

英国、ランカシャー生まれ。ユーディ・メニューイン・スクールにてヴラド・ペルルミュテールおよびナディア・ブーランジェに師事。その後ロンドン王立音楽大学卒業後、'78年のリーズ国際ピアノコンクールで入賞して以来国際的な活躍を始める。ソロ、室内楽、レコーディング、ロイヤル・ノーザン音楽大学の芸術監督、そしてロンドン王立音楽アカデミーの教授として活躍。ソリストとして世界各国のオーケストラと共演、室内楽奏者としてはイザベル・ファン・クーレン、トゥルルス・モルク、ジャンヌ・ヤンセン、小川典子等と数多く共演。特にヨーヨー・マとは数多く共演していて今回で8回目の来日となる。

ストットはピーター・マックスウェル・デイヴィス、マイケル・ナイマン、グレアム・フィットキンなど現代を代表する作曲家の作品を数多く初演している。最近ではフィットキンの「2台のピアノのためのサーキット」をマンチェスターと日本で初演、BISからCDも発売された。

芸術監督としても多くのフェスティバルで指導的役割を果たしている。'95年にはフランス音楽を広めた業績が認められ、仏政府より芸術文化勲章シュヴァリエを授与された。'98年には「Out of Shadows」と題したフェスティバルの監督を務めた。また2000年には、自身がマンチェスターのブリッジウォーターホールのために創設したフェスティバル「Piano2000」の芸術監督となる。